



広報

大熊町役場会津若松出張所

12月1日発行／大熊町役場総務課 所在地：福島県会津若松市追手町2番41号 ☎フリーダイヤル：0120-26-3844(代)
E-mail：okuma@town.okuma.fukushima.jp／ ブログ大熊町 <http://blog-okuma.jugem.jp/>
大熊町公式ホームページ <http://www.town.okuma.fukushima.jp/>

今月の主な内容

- 町のうごき ②～③
- 町民のひろば ④～⑤
- KIZUNAお楽しみあひ通信 ⑥～⑩
- お知らせ ⑪～⑮
- 保健だより ⑯～⑰
- 町民掲示板 ⑱～⑲
- あらかると ⑳

フルーツの香り漂う ロマンの里

おおくま



12

ET-KING

—大熊町ふるさとまつりinいわき (2013.11.9) —

2013〔平成25年〕No.497

功績をたたいて

大熊町表彰式

永年にわたる町発展への顕著功績や行いに対し表彰する大熊町表彰式が11月3日「文化の日」、会津若松ワシントンホテルで行われました。

(欠席により写真が無い方がいます。)

特別功労章

平成24年度 藍綬褒章受章

◆佐久間 孝夫さん

(88歳 錦台)



昭和30年2月1日から現在まで58年にわたり統計調査員として農林業センサスや国勢調査、事業所・企業統計調査、商業統計調査、労働力調査等に従事され、統計調査の円滑化に寄与されました。
また、統計調査員協議会会員として、統計思想の普及に尽力されました。

永年勤続章

◆根本 充春さん

(73歳 東平)



平成12年4月1日から現在まで14年にわたり行政区長として活躍し、町政進展に寄与されました。

◆鈴木 雅雄さん

(61歳 旭ヶ丘)

平成2年10月1日から現在まで23年にわたり統計調査員として国勢調査や農林業センサス等に従事され、統計調査の円滑化に寄与されました。
また、統計調査員協議会会員として、統計思想の普及に尽力されました。

◆片倉 莊次さん

(65歳 原)



平成4年4月1日から現在まで22年にわたり統計調査員として工業統計調査や農林業センサス、国勢調査、商鉱工業石油等消費統計調査等に従事され、統計調査の円滑化に寄与されました。
また、統計調査員協議会会員として、統計思想の普及に尽力されました。



表彰式の様子

平成2年2月1日から現在まで24年にわたり統計調査員として農林業センサスや国勢調査、工業統計調査、商鉱工業石油等消費統計調査等に従事され、統計調査の円滑化に寄与されました。

また、統計調査員協議会会員として、統計思想の普及に尽力されました。



◆門馬 幸治さん
(59歳 長者原)

昭和61年4月1日から現在まで28年にわたり消防団員として消防活動に精励し、現在、副分団長として団員の指導にあたり、分団の団結と育成に尽力されました。



◆川井 和也さん
(51歳 大野)

平成4年12月1日から現在まで21年にわたり民生委員として社会福祉の増進に尽力されました。



◆八巻 良子さん
(71歳 旭台)

熊1区老人クラブの会長として10年間務め、その間6年にわたり老人クラブ連合会会長として活躍し、大震災後も老人クラブ活動に協力されました。

東日本大震災による避難のなか、「熊1区の歩み」と題して大昔から大震災までの熊1区の行事、出来事の記録をまとめ出版されました。



◆河西 確さん
(81歳 旭台)

善行章

昭和62年4月1日から現在までの27年にわたり消防団員として消防活動に精励し、現在、班長として団員の指導にあたり、分団の団結と育成に尽力されました。

◆末永 隆一さん
(49歳 熊町)



受賞者のみなさん

健康で楽しく働ける、豊かなまちをつくりましょう。
みんなで助けあい、明るいまちをつくりましょう。
きまりを守り、平和な住みよいまちをつくりましょう。
自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
進んで学び、香り高い文化のまちをつくりましょう。

小・中学校の創立記念式典が行われました



記念式典の様子

町立小学校の創立140周年、町立中学校の40周年を記念する式典が10月12日、会津大学短期大学の体育館で開催されました。

渡辺町長は式典で「大災害を乗り越え強く立派に成長した子供たちが、大熊町の将来を担ってくれることを期待しています」とあいさつしました。

記念講演では、大熊町出身の陸上選手である秋本真吾さんが「夢と目標」と題して、ご自身のこれまでの陸上競技の経歴や、陸上クラブチーム「ARIGATO OKUMA」の立ち上げなど、続けることの大切さを子供たちに伝えていただきました。

また、式典の第2部としての記念植樹が10月25日、やすらぎの郷「会津村」で実施されました。



秋本真吾さんの記念講演

長岡市の小学生が仮設住宅を訪問しました

新潟県長岡市の中之島中央小学校の6年生75人が10月24日、会津若松市の一箕町長原地区応急仮設住宅を訪問しました。

この訪問は、2004年の「7.13水害」と「新潟県中越大地震」で大きな被害を受け、そこから、全国から駆けつけた多くのボランティアや支援を受け、そして何より自分たちの努力により復興した長岡市。そこに住み、ふるさどが復興していく姿を見て育った子どもたちが、その感謝の気持ちを胸に「復興交流会」として仮設住宅を訪れたものです。



ふれあいタイム

交流会では、子どもたちが、全国からの支援に対する感謝の気持ちを表現した『結』の演舞や合唱を披露し、その後、住宅内の一戸一戸を訪問し、手作りの凧をプレゼントしました。

また、集会所で行われたふれあいタイムでは、自治会長の齋藤重征さんや廣嶋公治さんから、大熊町民の避難の現状などを説明されると、初めて知る事実も多く、子どもたちは真剣に聞き入っていました。



中之島中央小学校生徒による踊り「結」

ミニ文化展が開催されました

ミニ文化展が11月2日～3日に会津若松出張所で、11月9日～10日にいわき出張所で開催されました。

町立幼稚園、小学校、中学校の生徒たちの作品や、個人出展された町民の作品が展示され、力作揃いの作品は訪れた人たちの目を楽しませていました。



子供たちの作品



個人出展の作品

町民のひろば

大熊中学校柏陽祭が開催されました

大熊中学校柏陽祭が10月26日、会津大学短期大学部体育館で開催されました。

伝統を引き継ぐ大中生の想いと未来へ立ち上がる自分たちの想いを込めて、『大中魂（ソウル）立ち上がれ118人の風雲児達よ』を開催テーマとして、3部構成の発表が行われました。

第1部では、1年生は「国際理解」、2年生は「環境」という学年ごとのテーマで、クイズ形式や寸劇などの工夫をこらした発表がありました。3年生は「私たちの感謝と元気を伝えよう!」を学年テーマに、「大熊中劇団」として老人ホーム等を訪問した際に披露した歌舞伎「白波六人男」、落語「寿限無」や群読などを発表して、客席から笑い声や喝采が上がりました。



生徒達の作品



演奏する吹奏楽部

第2部では、学年ごとの合唱、特設合唱部の発表のほか、先生方によるサプライズ合唱「明日があるさ」があり、生徒たちも一緒になって手拍子しながら歌いました。

第3部の吹奏楽部の発表では、5曲が演奏された後、アンコールに応じて「学園天国」が演奏されて会場が盛り上がりました。

その他にも、体育館内には美術や理科の作品やクラスによる壁画など多くの作品が展示され、会場を訪れた皆さんは熱心に作品を鑑賞していました。

町民 130 人が旧交を温めました

一日赤ふるさと住民交流会

日本赤十字社主催のふるさと住民交流会が10月31日、磐梯熱海温泉ホテル華の湯で開催され、県内外の避難先から町民約130人が参加しました。

この交流会は、日本赤十字社が震災前の地域住民のつながりを蘇らせる機会として催したもので、昨年のリステル猪苗代に続いて2回目の開催です。

開会式では、日本赤十字社福島県支部の神野幸夫総務課長が「おしゃべりや美味しい食事、お風呂でリフレッシュしてください」とあいさつし、渡辺町長が「日頃より、物心両面の様々な形で被災者支援にご尽力いただき、また、このような慰労と交流の場を設けていただき感謝します」と御礼を述べました。

参加した町民の皆さんは、久しぶりに顔を合わせた友人と近況などの話しに花を咲かせていました。



御礼を述べる町長



バイキングを楽しむ参加者

KIZUNA おおくまふれあい通信

第8号

東日本大震災と、それに伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、大熊町は全町避難を余儀なくされ、私たちは今も、全国各地に分散して不自由な生活を強いられています。

長期化している避難生活、先行き不透明な状況の中で、ふるさと「おおくま」に対してどのような想いを抱いているのか、直接避難先へ訪問してインタビュー取材を行い、本紙に掲載させていただいています。

「KIZUNAおおくまふれあい通信」を通して届けられた想いを共有し、ふるさと「おおくま」と皆さまを「絆～きずな～」でつないでいくことができれば幸いです。

※株式会社鹿島印刷所（南相馬市）の記者が避難先を訪問し、インタビュー取材をさせていただいています。

※掲載する文章は、インタビューした内容をもとに記者が作成しますので、インタビューをお受けいただいた方が文章を作成する手間はございません。



租税教室



保育所もちつき会



健康づくり寺子屋

「KIZUNAおおくまふれあい通信」で、 あなたの想いを伝えてみませんか？

KIZUNAおおくまふれあい通信では、避難されている皆さまへ想いを伝えていただける方を募集しています。避難先での活動や避難生活で感じていることなど、あなたの想いをこのコーナーでお話してください。大熊町民の方ならどなたでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

応募先

大熊町役場会津若松出張所総務課秘書広聴係
電話：0120-26-3844 FAX：0242-23-7093
E-mail：somu@town.okuma.fukushima.jp



福島県 いわき市

わたなべ しげゆき

渡部 茂幸 さん

自宅は下野上2区。出張中の東京都内で震災に遭遇した。

現在、いわき市内の借上住宅で、両親、姉一家とともに生活している。



被災当日は出張のため同僚とともに東京におりました。用務を終えJR上野駅構内で、午後4時同駅発のスーパーひたちを待っている時、地震に襲われまして。長く大きな揺れに危険を感じ、駅の外に出ました。その後、列車は運休となり駅は閉鎖され、私たちは行き場を失いました。甚大な被害が報じられ、家族や職場とは連絡が取れない中、すぐにでも帰りたいと思いましたがどうにもなりません。そこで早速、上野駅周辺の宿泊施設を回り空室を探したところ、運良く泊まることができました。宿泊先では夜通しテレビで状況を見守りました。

その夜、埼玉県内に住む兄と連絡が取れ、翌朝、兄の運転で同僚とともに福島県内を目指しました。高速道路が通行止めのため、ラジオで情報を聴いたり、携帯メール等で家族や仲間と連絡をとりながら一般道を北上し、川内村内にある義兄（姉の夫）の実家を目指しました。道中、田村市内で、大熊・双葉方面から来る車の多さや、原発が爆発した情報にチェルノブイリ原発事故のような状況を連想しました。その後、川内で家族と無事再会し、その翌日からは消防団活動に合流しました。私が所属している分団は、当初、避難所となった船引高校が担当となりました。同校では、ピーク時で避難者が約

3百人に達しました。避難所ではスクリーンングを受けることが入所条件となり、受けずに来る人たちに入所できないと告げるのは大変辛い経験でした。約2週間後、避難所がデンソー福島工場に集約され、同所の解消とともに分団活動は解散され、郡山市内の借上住宅に移っていた家族らと合流し、その後、いわき市内の借上住宅に移り現在に至っています。

私は被災前から、市町村対抗野球大会に参加する大熊町チームに加わっていました。避難により、メンバーがバラバラになり練習や大会参加どころではなくなっていました。そんな中、これを機にメンバーの世代交代をしようかという声が上がりが、先輩メンバー諸氏から、その取りまとめ役に指名されました。初めは戸惑いましたが、自分たちの活動を見て、皆さんが少しでも元気さを取り戻してくれればと思い、声をかけ有志を募りました。皆さんの協力もあり、現在は20代・30代中心のメンバーにチームが再編成されました。

被災後初年度となった平成23年度大会には参加できませんでしたが、昨年度以降は参加しています。避難生活で満足な練習もできず、初戦敗退に喫しています。「大熊の元氣」を取り戻すべく、今後も活動していきます。



福島県 会津若松市

しまばら けんじろう

島原 健二郎 さん

自宅は熊2区で同区長。現在、大熊町見回り隊に所属し、防火・防犯に務めている。

現在、妻（写真・右）とともに、会津若松市内の仮設住宅で生活している。



私は郵便局で集配の仕事に就き、妻は町内で居酒屋（居酒屋たかむら）を経営していました。

被災当日、妻の店では夜の宴会が入っていたため、昼過ぎ頃まで宴会に出す料理の仕込みをしていました。その午後、同日中学校を卒業した孫娘とともに榎葉町在住の長女が、近所に住む母に孫娘の卒業報告の顔見せと店の手伝いを兼ね訪ねてきました。その後、妻、長女、孫娘は、母の通院に同行して双葉厚生病院に出かけましたが、その最中の被災となりました。

妻たちは無事帰宅しましたが、自宅も妻の店もメチャクチャの状態です。大地震で宴会どころではありませんが、仕込みを終えた15人分の料理は、地震の揺れのため店内に撒き散らしたような状態です。加えて、もう一人の孫（長女夫婦の長男）と長女の夫と連絡がとれません。道路状況が非常に悪い中、私と長女はその孫を迎えに榎葉に向かいました。その孫は被災当時、小学校にいたため無事に合流でき、その夜10時過ぎには大熊に連れてくることができました。

翌朝、避難指示が出された後、私は当時副区長だったため、行政区内の避難誘導にあたり、母ら5人は先に妻の運転で町を離れました。当時、母は带状疱疹を

発症していたため、避難所等、冷たい床の上というわけにはいかず心配でした。町を離れた後、お互いバラバラになりましたが、4日後には合流でき、母の体調のこともあり、親類とともに神奈川県内の義姉一家のもとに向かいました。母は、現地で入院し治療を受けましたが、避難から約1か月後、故郷の土を踏まずして無念な最期を迎えました。

その後、娘一家は孫たちの学校のこともあり一足先に県内に戻り、現在はいわき市内で生活し、私たち夫婦は二次避難所を経て、一昨年8月からこの仮設住宅で生活しています。避難後、何度か一時立入で帰宅しますが、ネズミの侵入などもあり、自宅、店ともに被害がひどくなっているようです。

こちらで生活を始めてから、外を向いて生活しているという心がけています。夫婦ではパークゴルフに参加しています。私は昨年、見回り隊スタッフの募集に応募し、その12月から活動しています。長年生活してきたふるさとの防災・防犯に少しでも役立てればと思つて取り組んでいます。加えて、避難後、行政区長も務めさせていただいています。また妻は、相馬流れ山踊り保存会やボランティアグループの活動に参加し、同グループの代表を務めるなど、そんな日々を送っています。



福島県 会津若松市

につた こうすけ

新田 浩介さん

大熊中学校 2年生

自宅は下野上2区。被災当時は大野小学5年生。学級委員に指名され、クラスのとりにまとめに奮闘中。

現在、会津若松市内の借上住宅で、母、弟、祖母とともに生活している。



それまで教科書やマスコミでしか知ることが無かった大災害。まさか自分がそうした災害の当事者になるとは思ってもみませんでした。

被災当時、私は小学校5年生。下級生や同級生とともに下校途中、保健センターのあたりで地震に遭いました。道路が波打ち、電線はまるで蛇が暴れたように激しく動いていました。みんなが固まって地面にしゃがみながら揺れがおさまるのを待ちましたが、その時目に入った、近くに止まっていた幼稚園のバスが地面とバウンドする姿を今でもはっきりと覚えています。

翌朝からの避難で、私たち一家はバスで町を出て県内外の避難所を経て、小学校の新学期が始まるのに合わせて喜多方にきました。その後、今生活している会津若松市内の借上住宅に移りました。父は仕事の関係で出張が多く、たまにか帰ってきます。

会津に来て約1年後、私は同級生とともに、無事、小学校を卒業して、中学校に入学しましたが、これまで、親の仕事や家庭の都合で転校していった同級生もいました。仲間が減るのはさみしいことですが、お互いに頑張ろうと声を掛け合って笑顔で手を振っています。離れてからも、メールなどで連絡を取り合い、

励ましあっています。

今年度、新学期が始まって間もなく学級委員の選出が行われました。クラス全員による投票の結果、学級委員に選ばれました。私の学年は1学級しかないので、学級の代表は「学年の代表」でもありません。初めのうちはピンときませんでした。が、学年を代表して植樹に参加するなど、公式行事への出席もあり、最近になって責任の大きさを感じることもあります。

中学生になってから、部活動にも参加しています。1年生の時、男子バドミントン部に入りましたが、人数が少なく廃部になってしまったため、テニス部に移りました。人数が少なく全員がレギュラーメンバーですが、会津地区は強豪揃いのため、対外試合は初戦敗退です。また、転校した元同級生と出会うこともたまにあり、転校しても同じ大熊の仲間なので、元気な姿を見ると嬉しく思います。

今年度も、間もなく始まる冬休みが終わると3学期です。来年度には中学3年生になり、高校受験など自分の将来について考えなければならぬ時を迎えます。まだはつきりとはしませんが、パソコンやインターネットに興味があるので、将来、IT関係の仕事を目指したいと思っています。



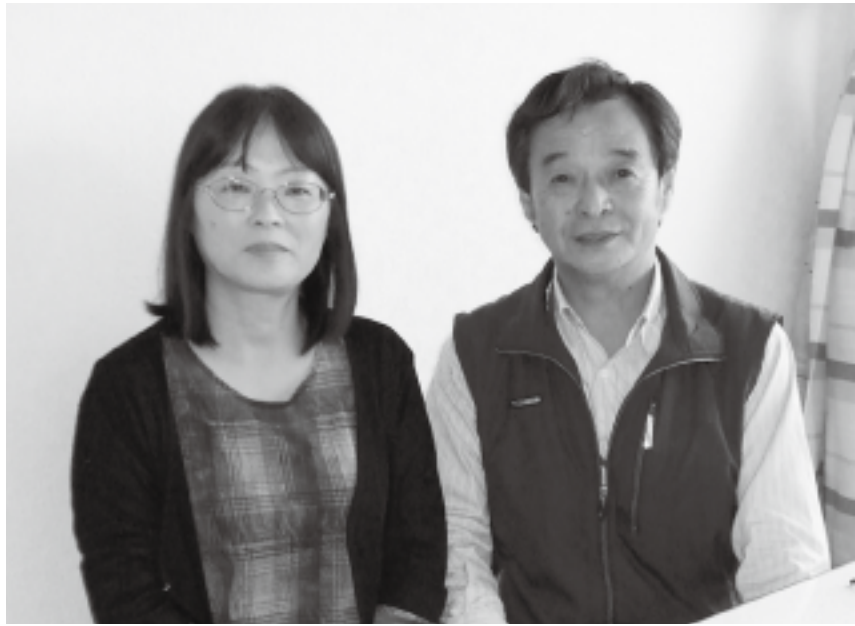
神奈川県 川崎市多摩区

たかぎ ゆきこ

高木 由記子 さん

自宅は町区。夫、長男（当時・双葉町在住）とともに実家（浪江町）が営む燃料販売店で勤務中に被災。自宅に戻れずしての避難となった。

現在、川崎市内の借上住宅で、夫（写真・右）とともに生活している。



震災発生後、再び大熊の土を踏み、街や自宅の姿を目にできたのは、初めての一時立入の時でした。あの朝（一昨年3月11日）、家を出るときはいつものように普通の服装でしたが、数か月後となった帰宅は防護服姿の完全防備になろうとは夢にも思いませんでした。

被災時、私たち夫婦と長男は仕事中だったため、浪江町内にいました。地震発生直後から、浪江町を中心にプロパンガスユーザーの皆さんの安全点検や修理を行っており、その夜は、浪江の実家で過ごしました。翌朝も早くからお客様の対応に当たっていましたが、避難指示が出され、自宅に帰ることなく、長男一家、妹（浪江町）、叔父夫婦（双葉町）とともに、南相馬市原町区にある長男の妻の実家に向かいました。浪江、小高は地震と津波両方の被害を受けていましたが、同市原町区では、津波被災以外、地震の被害はほとんどみられずライフラインはほぼ正常で、大変驚きました。ここで大丈夫かと思った矢先、その夕方、最初の爆発が報道されました。幼い孫のことを考え、西に向かいました。その夜は川俣町にある量販店の駐車場で過ごしました。

翌朝、散歩をしている住民の方に、避難所や買物ができる場所などについて尋ねたところ、孫に着せる服や寒さをしのげ

る布団などを譲っていただきました。その後、避難所となった同町内の集会場に身を寄せましたが、地域の皆さんには本当に良くしていただきました。それが縁で、現在でも、当時お世話になった皆さんとの交流が続いています。また、東京に住む長女の友人や同僚、その実家の皆さんたちも色々と支援を頂いています。同町滞在2日間、首都圏の親類宅や避難所等を経て、現在のところ生活しています。同じ団地内に長男一家、妹一家も生活しています。

こちらでの生活も2年を超えましたが、近所の皆さんには親切にして頂いています。移ってきた当初、色々と戸惑うことが多く、外出に苦痛を覚えることもありましたが、そんな中でも、孫の成長を見るのがとても楽しみです。現在、幼稚園に通う孫の運動会には、南相馬市から長男の妻の両親たちも駆けつけ、かけっこで孫の走る姿を見た時には、両家両親共々、うれしくて思わず涙を流してしまいました。また、この4月からは、横浜・川崎周辺の避難者で結成した「どんぐりの会」に参加し、皆さんとの交流を通して、元気を取り戻してきたように感じられます。

先も見えず、落ち着かない生活が続いています。どこかで一区切りが来た時には、これまでお世話になった皆さんに御礼の方々がいたいと思っています。



運動教室のご案内

今年も残すところ、あとわずかとなりました。いきいきと元気よく、来年を迎えるために、みんなで簡単な運動をしましょう！

- ◆内 容：筋力低下防止のための軽い筋力トレーニング、ストレッチ
血圧測定、健康相談等の個別相談
- ◆準備物：水分補給のため飲み物（水やお茶）、タオルなど
- ◆講 師：いわきはり・きゅう介護予防チームの先生
- ◆日 時：12月10日（火） 9時30分～11時30分
- ◆場 所：大熊町役場 いわき出張所 2階

※参加される方は、12月9日（月）までに、電話にて
問い合わせ先まで申し込みをお願いします。



【お問い合わせ先】
大熊町役場 いわき出張所
☎0120-26-5671

住民基本台帳の閲覧状況を公表します

住民基本台帳閲覧制度は、住民基本台帳法により毎年1回以上閲覧状況を公表することが義務付けられています。これに基づき、平成24年11月1日から平成25年10月31日までの閲覧状況を公表します。

○国または地方公共団体の機関の請求による閲覧

国または地方公共団体の機関の名称	請求事由の概要	閲覧の年月日	閲覧に係る住民の範囲
自衛隊福島地方協力本部	自衛官募集に伴う広報	平成24年 11月12日	平成7年4月2日から平成8年4月1日生まれの男女 平成10年4月2日から平成11年4月1日生まれの男子

○個人または法人の申し出による閲覧はありませんでした

【お問い合わせ先】 大熊町役場会津若松出張所 住民課住民係

ぬいぐるみをプレゼントします

この度、齋藤紅美（さいとうくみ）様よりクマのぬいぐるみを5体いただきました（平成23年度より毎年いただいております）。2013年の刺繍が入ったすてきなぬいぐるみです。今年生まれたお子様に誕生の記念として抽選でプレゼントしたいと思いますのでご応募ください。なお当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

応募期間 12月2日（月）～12月13日（金）

応募資格 平成25年1月1日
～平成25年12月13日生まれで
大熊町に住民登録している方



【応募・お問い合わせ先】大熊町役場会津若松出張所 福祉課 ☎0120-26-3844（代表）

町政懇談会を開催します

大熊町では、皆さまのご意見等を広くお聞きし、今後の町政に反映させることを目的として、10月26日から町政懇談会を開催しております。各会場の開催日等が決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

率直なご意見をお聞かせいただきたいので、皆さまのご参加をお願いします。



町政懇談会の様子

【仮設住宅入居者対象】

開催日	開催時間	対象地域等	会場
12月3日(火)	14:00～16:00	河東金道地区応急仮設住宅	集会所
	18:00～20:00	河東学園応急仮設住宅	集会所
12月4日(水)	14:00～16:00	扇町1号公園応急仮設住宅	集会所
	18:00～20:00	扇町5号公園応急仮設住宅	集会所
12月5日(木)	10:00～12:00	みどり公園応急仮設住宅	集会所
	14:00～16:00	松長5号公園応急仮設住宅	集会所
12月6日(金)	10:00～12:00	一箕町長原地区応急仮設住宅	南側集会所
	14:00～16:00	松長近隣公園応急仮設住宅	第1集会所
12月10日(火)	10:00～12:00	東部公園応急仮設住宅	集会所
12月11日(水)	10:00～12:00	亀公園応急仮設住宅	集会所
12月13日(金)	10:00～12:00	城北小学校北応急仮設住宅	集会所
	14:00～16:00	第二中学校西応急仮設住宅	集会所

※仮設住宅集会所には外来駐車場が無い場所があります。また、入居者専用駐車場への駐車はトラブルの原因となりますので、上記日程は「仮設住宅入居者」を対象としておりますことを予めご了承ください。

【借り上げ住宅等入居者対象】

新潟県柏崎市会場

- ◆日 時 12月7日(土)
14:00~16:00
- ◆会 場 柏崎市産業文化会館 第2会議室
(新潟県柏崎市駅前2丁目2番45号)
- ◆駐車場 会場隣接の駅前ふれあい広場駐車場
(有料) 7:00~19:00 1時間100円

南相馬市会場

- ◆日 時 12月8日(日)
14:00~16:00
- ◆会 場 南相馬市市民情報交流センター
マルチメディアホール
(福島県南相馬市原町区旭町二丁目7-1)
- ◆駐車場 南相馬市市民情報交流センター駐車場
(2時間まで無料 受付で駐車券認証必要)

喜多方市会場

- ◆日 時 12月10日(火)
14:00~16:00
- ◆会 場 喜多方プラザ文化センター 第2会議室
(福島県喜多方市字押切二丁目1番地)
- ◆駐車場 喜多方プラザ文化センター駐車場

郡山市会場

- ◆日 時 12月16日(月)
第1部…14:00~16:00
第2部…18:00~20:00
- ◆会 場 ビッグパレットふくしま
コンベンションホールB
(福島県郡山市南二丁目52番地)
- ◆駐車場 ビッグパレットふくしま駐車場

会津若松市会場

- ◆日 時 ・12月14日(土) 第1部…10:00~12:00 第2部…14:00~16:00
・12月15日(日) 第1部…10:00~12:00 第2部…14:00~16:00
- ◆会 場 大熊町役場会津若松出張所 2階議場(福島県会津若松市追手町2-41)
- ◆対 象 ・12月14日(土) 第1部(中屋敷地区、野上1・2区、下野上1・2・3区)
第2部(大野1・2区、大川原1・2区、熊1・2・3区)
・12月15日(日) 第1部(町区、熊川区、野馬形区、小入野区)
第2部(大和久区、夫沢1・2・3区)
- ◆駐車場 大熊町役場会津若松出張所駐車場
(駐車場には限りがありますので、公共交通機関の利用やマイカーの乗り合わせにご協力ください)

宮城県仙台市会場

- ◆日 時 12月22日(日)
14:00~16:00
- ◆場 所 フォレスト仙台 2階第5・6会議室
(宮城県仙台市青葉区柏木1-2-45)
- ◆駐車場 フォレスト仙台駐車場(有料)(30分100円)

福島市会場

- ◆日 時 12月23日(月・祝)
14:00~16:00
- ◆場 所 福島県文化センター 2階会議室
(福島県福島市春日町5-54)
- ◆駐車場 福島県文化センター駐車場

※会場定員の都合上、従来の行政区等により開催日・時間を設定しておりますので、ご協力をお願いします。

【お問い合わせ先】 大熊町役場会津若松出張所 総務課 ☎0120-26-3844 (代表)

“除染”のこと

情報提供 環境省

国による除染に関するお問合せ窓口

福島:024-523-5391 (8:30～17:15 土日祝除く)

東京:03-6741-4535 (9:30～18:15 土日祝除く)

やすくていねいに』 お伝えいたします。

皆様のご協力のもと除染を進めてまいります!

大熊町の除染に携わる人の思いや取組などを紹介させていただきます。

●環境省福島環境再生事務所で大熊町の除染を担当している会津支所について

大熊町の除染と廃棄物の処理、常磐道の除染を担当しています。具体的には除染実施に向けた町との調整、住民の皆様からの同意取得、除染作業の監督を行っています。

●除染作業を進めるうえで一番気にかけていること

最も重要なことは、土地や建物を所有されている皆さまから同意をいただくことです。そのためには、除染について作業の内容や進め方をていねいに説明し、ご理解をいただいたうえで除染をしています。また、その際に約束したことは確実に実施しなければと思っています。

●大熊町の方々へメッセージ

皆さまには除染の実施にご理解をいただき、大変感謝しております。おかげさまで現在、除染についての同意取得率は約90%となり、仮置場の設置についても順調に進んでいます。また、屋内の片付けごみの整理等にもご協力いただいた結果、大川原区と中屋敷区等の屋外、屋内の片付けごみの処理を12月中旬から行う予定です。これまで同様、ご理解とご協力をお願いいたします。

●今後に向けて

除染を行う目的は、何といても大熊町の「早期環境回復・復興」と町民の皆さまの早期帰還です。それに向けて、まずは現在実施中の除染と片付けごみの処理をできるだけ早く、そして確実に終わることができるよう、会津支所職員一丸となってがんばってまいります。

*迅速かつ円滑な除染の推進に向けて、環境省では平成24年1月に福島環境再生事務所を、同年4月に5つの支所を開設。大熊町の除染については、大熊町役場の出張所が会津若松市にあるため、会津支所が担当しています。（以上、尾川幸彦）



環境省 福島環境再生事務所 会津支所

尾川 幸彦 支所長

プロフィール

尾川 幸彦 おがわ さちひこ

鳥取県生まれ。60歳。昭和52年4月農林省入省、平成25年3月退職。農林省では土地改良事業等を担当。同年4月より環境省福島環境再生事務所会津支所長（現職）。

土地所有者の了解を得て丁寧に仕事を進めることが大切なのは除染にも通じ、この経験を活かしたい。趣味はスキー、マラソン、登山。会津では蒲生岳、燧ヶ岳に登り、今後は磐梯山を目指す。

除染の必要性について

なぜ除染をするのか、なぜ除染が必要なのかなど、除染に関する皆さまの疑問にお答えさせていただきます。

❓ 除染って必要
なんですか？

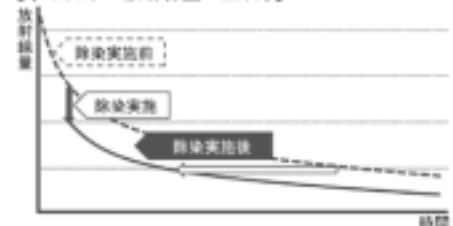
❗ 放射線の影響をできるだけ早く減らし、一日も早くみなさまが安心して暮らすために、除染は必要です。

放射線を出している放射性物質は、時間と共に線量が減少していきます。また風や雨など自然の現象で土地の線量が減少（ウェザリング）していく傾向も見られます。

自然に放射性物質の線量は減りますが、長い年月*がかかるため、少しでも早く放射線量を減らすため除染を行います。

*今回の原発事故で放出された放射性物質は、主にヨウ素131、セシウム134、セシウム137です。ヨウ素131は半減期(放射線の量が半分に減るまでの時間)が約8日で現在は皆無です。セシウム134は半減期約2年で比較的速やかに減りますが、セシウム137は半減期が約30年で、セシウム134に比べ長期間影響が残ります。

【事故由来の放射線量の減り方】



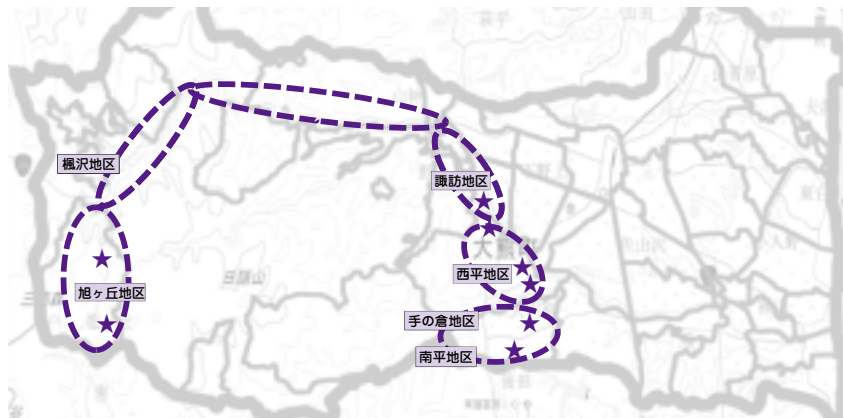
大熊町の皆さまにお伝えしたい

大熊町の皆さまへ 環境省より除染や放射線について、正しい情報を『わかり

除染の進捗、今後のスケジュールについて

大熊町で行われている除染の今後の工程をご紹介します。

工程表 説明図 平成25年度



旭ヶ丘仮置場



常磐道西仮置場

は、おおよその除染対象範囲を示しています。厳密な作業範囲とは多少ずれている場合があります。主に、国道288号線及び県道35号線に沿う地域になっています。

★は仮置場の位置です。除染作業区域では重機を用いることもあります。安全確保のため作業現場に近づく際はご注意ください。作業指揮者から、安全確保のため 移動等をお願いする場合があります。なお報道関係で事前連絡のない作業員への取材は原則としてお受けしておりません。ご理解とご協力をお願いいたします。

除染情報プラザについて 常設展示のほかにも様々な活動を行っています。

除染の進捗状況や基礎知識、専門的なサポート情報など、除染に関する最新情報を案内しています。除染や放射線についての知識を伝えるため、ご相談に応じ各分野の専門家を市町村や町内会などに派遣しています。地域のイベントや講習会などの際、除染や放射線に関する展示も行います。お気軽にご相談ください。

※専門家や移動展示の派遣については、自治体・町内会・学校などの団体・グループ単位でお申し込みください。個人単位では受け付けておりませんので、あらかじめご了承ください。



展示物を使った説明



町内会で行われた講習会



専門家による出前授業（小学校）

除染情報プラザ（福島駅東口から徒歩5分）

☎024-529-5668 〒960-8031 福島県福島市栄町1-35 1階
10時～17時（月曜は定休日、祝日の場合は翌日）

除染情報プラザ

検索



かぜ・感染性胃腸炎を予防しましょう!

今年もまた寒い季節がやってきました。空気が乾燥した寒い季節は、体調を崩しやすく、かぜや感染性胃腸炎に罹りやすい時期です。ウイルスによって引き起こされますので、予防を心がけましょう。

予防その① 規則正しい食事・休息

寝不足や過労、栄養不足、生活リズムの乱れは体の免疫力・抵抗力を落としてしまいますので、食事・睡眠・仕事といった毎日の生活リズムを規則正しく送ることが、かぜや感染性胃腸炎の予防になります。

予防その② うがい・マスク着用

「ガラガラ、ペツ」でおなじみのうがいですが、平成17年末に「水うがいには、かぜの発症を4割抑える効果がある」と、京都大学保健管理センターから発表されました。積極的にうがいをして、かぜや感染性胃腸炎の予防をしましょう。

次のような時には、ぜひうがいをして下さい。

・家へ帰ったとき ・外で遊んだ後や人混みの中へ行った後 ・掃除の後

うがいの仕方

- ① 口に水を含んで、強めにブクブクして吐き出す。
 - ② 口に水を含んで、上を向き15秒くらい、のどの奥までガラガラして吐き出す。
 - ③ もう一度②を繰り返す。
- ★咳やくしゃみが出る時や人ごみに出るときには、清潔なマスクを着用しましょう。

予防その③ 手洗い

私たちの手には、たくさんのウイルスや細菌が付着しています。

かぜや感染性胃腸炎の原因ウイルスは手や指を介して口や鼻へ入ってゆくことが知られていますので、積極的に手洗いをしてかぜや感染性胃腸炎を予防しましょう。

次のような時には、手を洗いましょう。

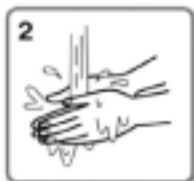
・家へ帰ったとき ・トイレの後
・食事の前 ・おむつや嘔吐物など不潔な物を処理した後

正しい 手の洗い方 (衛生的な手洗い)

ウイルスに
負けないように
健康管理をして
寒い冬を
乗り切りましょう。



1 時計や指輪をはずしたのを確認する



2 ひじから下を水でぬらす



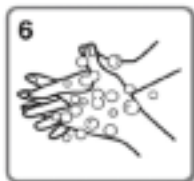
3 手洗い石けんをつけて



4 よく泡立てる



5 手のひらと甲(5回程度)



6 指の間、付け根(5回程度)



親指洗い(5回程度)



7 指先(5回程度)



8 手首(5回程度)
腕・ひじまで洗う



9 水で十分にすすぎ



10 ペーパータオルでふく(手指乾燥機で乾燥する) タオル等の共用はしないこと

定期高齢者インフルエンザ予防接種の接種期間は12月28日までです。(医療機関によっては年末のため対応できない場合があります) 体調の良いときにお早めに接種してください。

※今年度は、任意小児インフルエンザ予防接種の助成はありません。

【お問い合わせ先】 大熊町役場会津若松出張所 保健センター

シルバーツッキング 12月の日程のお知らせ

いよいよ、12月となりました。この1年間を健康で過ごせたでしょうか？
5回目の「シルバーツッキング」を開催しますので、ぜひご参加ください。

回数	日時	場所
5回目	12月5日(木) 10時~12時	会津若松市勤労青少年ホーム (会津若松市城東町14番52号)

◎対象：大熊町民で概ね65歳以上の男性

◎参加費：実費(300円程度) ◎持参物：エプロン・三角巾

※参加希望の方は、**12月3日(火)**までに電話でお申し込みください。

【お申し込み・お問い合わせ先】

大熊町役場会津若松出張所 保健センター ☎0120-26-3844(代)

熊2区第5班の親睦会を開催しました



中野新市さん

この人は元もと
玄人はだしの人で
す。この人に教え
られて影響を受け
た人はたくさんい
ます。班の集まり
には馳せ参じてく
れて、生気発刺、
その喉を唸らせて
くれます。ありが
たいことです。こ
れからも願いま
す。

熊2区第5班の親睦会を10月25日、いわき湯本温泉「ホテル美里」で開催しました。

離ればなれに住んでいても、何とか隣組の絆を維持し発展させる手立て、手がかりはないか。それを探して年1回親睦会を開いています。

迷い苦しみなながらも、班の皆さんはそれぞれのステージで頑張っている様子です。たくさん色々なことを深更まで話し、懐かしい話題に涙がにじみました。参加された皆さん、ありがとうございました。

幹事 山口 裕

平成10年3月大熊中学校卒業(S57.4.2～S58.4.1生)の皆様 同窓会開催のご案内

このたび厄払いを兼ね、同窓会を下記のとおり開催する運びとなりました。ご多忙とは存じますが、皆様のご来会をお待ちしております。

なお、お手元に招待状が届いていない方は、下記お申し込み先へ「氏名および参加の有無」をメールにてご連絡くださいますようお願いいたします。

また、連絡が困難な状況のため、この案内をご覧になったご家族やご友人の方がおられましたら、ご本人様にお伝えくださいますようお願いいたします。

開催日時 平成26年1月2日(木) 午後1時より
場 所 La Stanza (ラ・スタンツァ) いわき市平三丁目8-2 3階
会 費 5,000円(+初穂料1,000円)

※宿泊を希望される方は、お手数ですが各自でご予約をお願いします。

※facebook上でも周知を行っております。アカウントをお持ちの方はそちらもご覧ください。

【お申し込み先】 代表幹事 佐光真歩 (ohchu10@gmail.com)

～ふるさとに心をのせて～

安田祥子コンサートのお知らせ



原発事故避難による過酷で理不尽な状況を受け止め一歩でも前に進もうと、「大熊町に活気と笑顔を取りもどす会」を立ち上げ、少しでも心を穏やかに過ごせる一日をと「音楽祭・コンサート」を企画しました。この音楽祭は、原発で避難している人たち・有志の方たちの協力があり、手作り手芸品等を一生懸命作り販売し開催の資金を準備することができました。会津、郡山、いわき、そして、見知らぬ土地で新しい暮らしをはじめた町の仲間たちが、集い、歌声を響かせ、わが故郷に思いをはせる……そんな時間を一緒に過ごせればと思います。コンサートを楽しみ、力強く生きるため心の励み支えにしてほしい。

一人でも多くのご参加を心よりお待ちしております。

●開催日時 平成26年3月22日(土)

午後2時開場／午後2時30分開演

●開催場所 いわき市文化センター 大ホール(いわき市平字堂根1-4)

※会津若松駅～会場間の無料バスを運行予定です。

●入場料 2,000円(税込) 全席指定

●入場券販売日 平成26年1月25日(土)・26日(日)

販売時間 午前10時～午後3時

販売場所 大熊町役場会津若松出張所・大熊町役場いわき出張所

※販売場所での販売は2日間のみとなります。販売日にご購入できない場合(上記2ヵ所販売予定以外、地方の方等)は別途ご相談に応じます。

●主催 「大熊町に活気と笑顔を取りもどす会」代表 吉岡芳子(大熊町出身)

有志協力者: 石井弘・石井公子・吉岡由美子・川嶋仁子・新谷恵子・栃久保妙子

【お問い合わせ先】

○「大熊町に活気と笑顔を取りもどす会」電話: 080-5914-2913(吉岡)

○大熊町役場会津若松出張所 生活支援課 フリーダイヤル: 0120-26-3844(代表)

※コンサート前に町民の方々の親睦会を予定しています。

広報おおくま平成26年1月号で再度詳細をご案内いたします。



声楽家 安田祥子



大熊町からお配りしているタブレット端末でも、多様な情報を配信していますので、ぜひご覧ください。

操作方法については、タブレット相談室にお問い合わせください。

【タブレット相談室 ☎0800-800-0907】

おくやみ 申し上げます

死亡者名	年齢	住所
2013年(平成25年)10月		
山邊 泉	86歳	金谷 平
渡邊 聖	74歳	錦 台
永井 由枝子	81歳	大

茨城県に避難の大熊町のみなさんへ 大熊町避難者コミュニティ 「積小為大の会」のご案内

12月の定例会は次の通り開催します。

- ◆日時 12月21日(土) 9:00~12:00
- ◆場所 社団法人茨城県産業会館(水戸市桜川2-2-35)
- ◆駐車場 産業会館の駐車場をご利用ください
- ◆内容 弁護士による種々の法律勉強会および個人相談
- ◆その他 町民同士の情報交換

【お問い合わせ】

野田朋弘(日立市) ☎090-8423-5608

Email: tomohiro-n@higashi-t.com

à la carte

あらかると



「大熊町ふるさとまつり in いわき」を開催

「大熊町ふるさとまつりinいわき」が11月9日、大熊町役場いわき出張所隣の特設会場で開催され、約1,800人の町民が会場を訪れました。

ふれあい歌謡ショーでは、松原のぶえさんが曲の合間に交えた愉快的トークで場を和ませ、ET-KINGライブでは、テンポの良い曲と躍動感溢れる踊りで観客と一緒に盛り上がり、会場は熱気と興奮に包まれていました。



ふるさとまつりの様子



松原のぶえ歌謡ショー



縁日コーナー



埼玉県三芳町役場



ラムネ早飲み大会



双葉翔陽高校野菜直売



ET-KING ライブ

※大熊町からお配りしているタブレット端末の「ビデオメッセージ」でも、当日の様子を映した動画がご覧になれます。

この印刷物は、環境にやさしい「大豆油」インキを使用しています。

